

身体表現を拡張する日本のアーティスト
4組の新作をA・B 2つのプログラムで上演



Performing Arts

Selection 2024

あいだ

間
隙

の

時
時

間
隙



鈴木竜 × 岡本優

小暮香帆 × ハラサオリ

島地保武

岡田利規 × 酒井はな

©Joseph Marcinsky

2024.11.30 sat 14:00 [A]/17:00 [B] · 12.01 sun 13:00 [A]/16:00 [B]

愛知県芸術劇場 小ホール



[公演情報]

愛知県芸術劇場と横浜のダンスハウスDance Base Yokohamaが連携して創作した演目をセレクション形式で上演する

「パフォーミングアーツ・セレクション」では、2021年より10作品を発表、国内外20会場でツアーを行ってきました。

本公演では、国際的に高い注目を集めるアーティストによる4つの新作を、AプログラムとBプログラムの2つのダブルビルとしてご紹介します。

各々のアプローチでダンスの系譜を探求し、身体表現の新たな可能性に挑む最新作にどうぞ注目ください。

岡田利規×酒井はな『ジゼル』



演出・脚本:岡田利規*

出演:酒井はな* 舞台美術:佐々木文美

◆DaBYゲストアーティスト

2021年の「ダンスの系譜学」で初演を迎え、その後国内外13会場で上演、各地で大盛況を博した、環境問題をテーマに扱う『瀕死の白鳥 その死の真相』に続き、岡田利規と酒井はなが取り組む新作の第二弾。本作では、パレエ系 YouTuber はなが、ロマンティックパレエの傑作『ジゼル』のあらすじを紹介する。



岡田利規
Toshiki Okada
©Kikuko Usuyama

演劇作家、小説家、演劇カンパニー「チェルフィッチュ」主宰。独特な言葉と身体の関係性による方法論や、現代社会への批評的な眼差しが評価され、国内外で高い注目を集める。チェルフィッチュでは2007年に「3月の5日間」で海外進出を果たして以降、世界90都市以上で上演。国際共同制作作品も多数手掛けている。



酒井はな
Hana Sakai
©Tomohide Ikeda

1979年からクラシックパレエを始める。牧阿佐美パレエ団を経て、97年新国立劇場パレエ団設立と同時にプリンシパルとして移籍。以降、数々の主演を務める。日本を代表するパレエリーナとして、古典から現代作品まで幅広く取り組んでいる。2017年紫綬褒章など多数受賞。

島地保武『Dance for Pleasure』

演出・振付・出演:島地保武* リハーサルディレクター・出演:貝ヶ石奈美

出演*:木ノ内乃々、鈴木大翔、畠中真濃、藤村港平、堀川七菜、

山口泰侑、Liel Fibak ◆DaBYゲストアーティスト *DaBYレジデンスダンサー

世界的な振付家ウィリアム・フォーサイスとの活動をはじめ、分野を横断した様々なアーティストと協働してきた島地保武が、11名のダンサーと創作するアンサンブル作品。「ダンスそのものの追求」と語る島地とダンサーたちが相互に連関して生まれる景色から、何が見えてくるだろうか。



島地保武
Yasutake Shimaji
©yendo

2006～15年ザ・フォーサイス・カンパニーに所属。酒井はなのユニット Altneu (アルトノイ) を結成。愛知県芸術劇場製作「ありか」で環ROYと共演。国内外で多数ツアーを行う。愛知県芸術劇場×DaBYの企画では、環ROYと2作目となる「あいて」を発表。



貝ヶ石奈美
©André van Rensburg



木ノ内乃々
©Yuka Kamimura



鈴木大翔
©Yuka Kamimura



畠中真濃
©Yuka Kamimura



藤村港平
©Yuka Kamimura



堀川七菜
©Yuka Kamimura



山口泰侑
©Yuka Kamimura



Liel Fibak
©Yuka Kamimura



青柳潤
アンダーキャスト
©大淵清晴



星野ゆい
アンダーキャスト



織田若菜
アプレントイス

小暮香帆×ハラサオリ『ポスト・ゴースト』



考案・演出・出演:ハラサオリ*

振付・出演:小暮香帆*

ドラマトック:丹羽青人(DaBY) 衣裳:藤谷香子

◆DaBYレジデンスアーティスト

デザイン理論や生態心理学を参照した創作手法で注目を集めるハラサオリと、強靱な身体性と繊細な表現力を併せ持ち、独自の存在感を放つ小暮香帆による新作デュオ。歌舞伎における異性装や幽霊といった性表現の再解釈へ共に取り組む。



小暮香帆
Kaho Kogure
©Yuka Uesawa

ダンサー、振付家。国内外で作品を発表しながら劇場、音楽フェスティバル、メディアなど様々な領域で動きの美学を展開。近年は他分野のアーティストとのコラボレーション、映画への振付/出演、パレエコレクション出演など。



ハラサオリ
Saori Hala
©Mana Hinaki

美術家、振付家、ダンサー。「環境と身体」をテーマに、自らの身体、光、音、テキスト、ドローイングなど多様なメディアを用いた上演型作品を制作する。約10年に渡るベルリン滞りを経て、2023年より東京、横浜、神戸、京都など国内各都市で活動を行う。

鈴木竜×岡本優『TAMA』

演出・振付・出演:鈴木竜* 出演:岡本優

◆DaBYレジデンスアーティスト

「鈴木竜トリプルビル」や美術家・大巻伸嗣とサウンドアーティストの evala と協働したフルイブニング作品『Rain』など、愛知県芸術劇場にて複数の初演を行ってきた鈴木竜と、自身が主宰するカンパニーの活動や公演へのゲスト出演など、大活躍の岡本優。同世代の二人が初タッグを組み、鈴木が幼少期から親しんできた「けん玉」の身体性を解体し、舞踊として新たに再構築する異色作。



鈴木竜
Ryu Suzuki
©Takayuki Abe

振付家、ダンサー。2021年、愛知県芸術劇場にてコロナ禍で現代社会における「身体不在」をテーマに3つの新作を発表。23年、鈴木竜×大巻伸嗣『evala[Rain]』で振付をし、国内4ヶ所、香港のNew Vision Arts Festivalにて上演、好評を博す。



岡本優
Yu Okamoto
©Sugawara Kota

ダンサー、振付家。ダンス集団(TA BATHA)を主宰。単独公演の実施、映像出演、ワークショップ、屋外パフォーマンスなど、場を選ばず国内外で活動。岡田利規演出・全国共同制作オペラ『歌劇「夕鶴」』新演出などの創作に携わり、活動の幅を広げる。

2024.
11.30 sat 14:00 [A]/17:00 [B]
12.01 sun 13:00 [A]/16:00 [B] ※開場は開演の30分前

愛知県芸術劇場 小ホール (愛知芸術文化センター地下1階)

〒461-8525 愛知県名古屋市中区東横1-13-2
東山線または名鉄線「栄」駅下車、徒歩5分(オアシス21から地下連絡通路または2F連絡橋経由)

全席自由・整理番号付き(税込) | 1日通し券(一般)7,000円 (U25)4,000円
| 1回券[A or B](一般)4,500円 (U25)2,000円

※[U25]は公演日に25歳以下対象(要証明書)
※1日通し券は、各日A、B両プログラムをご覧いただけます。
※車いすでご来場の方は、チケット購入後、劇場(TEL 052-211-7552 /contact@aaf.or.jp)までご連絡ください。
※3歳以下入場不可。託児サービスあり[11月30日(土)/有料・要予約]
※開演後のご入場はお待ちいただく場合があります。
※やむを得ない事情により、内容、出演者等が変更になる場合があります。

チケット発売 2024.10.11(金)

▶ 愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス

▶ 愛知芸術文化センタープレイガイド(地下2階)

TEL 052-972-0430

平日10:00-19:00 土日祝休10:00-18:00(月曜定休/祝日休の場合、翌平日)

※購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。



【関連イベント】
岡田利規、酒井はな、
島地保武ワークショップ
オープンスタジオ

【託児サービス】11月30日(土)のみ

◎対象:満1歳以上の未就学児 ◎料金:各公演1名につき1,000円(税込) ◎申込締切:11月22日(金)
◎託児申込:オフィス・ハレット株式会社 TEL 0120-353-528(携帯電話からは052-562-5005)
◎受付時間:平日 9:00-17:00 土曜 9:00-12:00(日曜・祝日休み)

【観劇・鑑賞サポート対象公演】

視覚に障がいのあるお客さまへ、事前にプログラムのデータをEメールでお送りできます。ご希望の方は劇場事務局までご連絡ください。



プロデューサー:唐津絵理(愛知県芸術劇場/Dance Base Yokohama)

プロダクションマネージャー:世古口善徳(愛知県芸術劇場)

舞台監督:川上大二郎(スケラボ) 照明デザイン:櫛田晃代 音響デザイン:中原楽

お問合せ:愛知県芸術劇場(愛知県文化振興事業団)
TEL 052-211-7552(10:00-18:00) FAX 052-971-5541
contact@aaf.or.jp https://www-stage.aac.pref.aichi.jp

12月7日(土)~9日(月)【YPAM連携プログラム】神奈川公演 [会場:KAAT 神奈川芸術劇場(ホール)]

主催・企画制作・共同製作:愛知県芸術劇場、Dance Base Yokohama (一般財団法人セガサミー文化芸術財団)
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業(地域の核劇場・音楽堂等活性化事業))
独立行政法人日本芸術文化振興会

協力:株式会社precog

愛知県芸術劇場

